

令和 2 年 10 月 1 日

気象庁

「警報級の可能性（明後日以降）」XML の解説

1 全体構成

Report

- └ Control 管理部
- └ Head ヘッダ部
- └ Body 内容部

2 各部の構成と内容

(1) 管理部

① 管理部（Control）の構成と内容

タグ	内容	解説
Control		
└Title	情報名称	電文の種別を示すための情報名称を示す。“警報級の可能性（明後日以降）”で固定。
└DateTime	発表時刻	発表時刻。未来時刻にはならない。 “2008-06-26T01:51:00Z”のように協定世界時で記述する。
└Status	運用種別	本情報の位置づけ。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
└EditorialOffice	編集官署名	実際に発表作業を行った「編集官署名」を示す。“気象庁本庁”“大阪管区気象台”のように記述する。
└PublishingOffice	発表官署名	本情報を業務的に発表した「発表官署名」を示す。“気象庁”“大阪管区気象台”のように記述する。

(2) ヘッダ部

① ヘッダ部（Head）の構成と内容

タグ	内容	解説
Head		
└Title	標題	情報を示す標題。具体的な内容が判別できる名称であり、可視化を目的として利用する。“〇〇警報級の可能性（明後日以降）”（〇〇は府県予報区名）と記述する。
└ReportDateTime	発表時刻	本情報の公式な発表時刻を示す。“2008-06-26T11:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└TargetDateTime	基点時刻	本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す。“2008-06-28T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└TargetDuration	基点時刻からの取りうる時間	情報の対象が時間幅を持つ場合、TargetDateTimeを基点とした時間の幅を示す。“P4D”で、「基点時刻」から4日先までの予報であることを示す。
└EventID	識別情報	警報級の可能性（明後日以降）では要素内に何も記述しない。
└InfoType	情報形態	本情報の形態を示す。“発表”“訂正”“遅延”のいずれかを記述する。
└Serial	情報番号	警報級の可能性（明後日以降）では要素内に何も記述しない。
└InfoKind	スキーマの運用種別情報	同スキーマ上における情報分類に応じた運用を示す種別情報である。“警報級の可能性（明後日以降）”と記述する。
└InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン	スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。本解説のバージョン番号は“1.2_0”。
└Headline	見出し要素	防災気象情報事項となる見出し要素を示す。警報級の可能性（明後日以降）では何も記述しない。
└Text	見出し文	警報級の可能性（明後日以降）では要素内に何も記述しない。

(3) 内容部

① 内容部（Body）の構成と内容

タグ	内容	解説
Body		
└ MeteorologicalInfos	予報の項目	警報級の気象現象が発生する可能性を記述する。
└ TimeSeriesInfo	時系列情報	MeteorologicalInfos の予報を時系列情報として記述する。

②内容部の個別要素の詳細

※ 1 「警報級の可能性の予想」の詳細

タグ	内容	解説
TimeSeriesInfo	時系列情報	
└ TimeDefines	時系列の時刻定義セット	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└ TimeDefine	個々の時刻定義	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID)に対応する ID(timeId)を記述する。
└ DateTime	基点時刻	予報対象日について記述する。予報対象日の開始時刻を示す。“2008-06-28T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└ Duration	対象期間	予報の対象期間を示す。値「PID」で、1日を対象とした予報であることを示す。
└ Item		警報級の可能性の予報と、予報区を記述する。府県予報区に含まれる発表予報区の数だけ繰り返す。 ※ 1－1「警報級の可能性」の詳細を参照。

※ 1－1 「警報級の可能性」の詳細

タグ	内容	解説
Item	予報の内容	
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“雨の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「雨の警報級の可能性」の階級値（※ 1－2 参照）を記述する。 ※ 1－1－1「雨の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“雪の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「雪の警報級の可能性」の階級値（※ 1－2 参照）を記述する。 ※ 1－1－2「雪の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。

└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“風（風雪）の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「風（風雪）の警報級の可能性」の階級値（※ 1－2 参照）を記述する。 ※ 1－1－3 「風（風雪）の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“波の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「波の警報級の可能性」の階級値（※ 1－2 参照）を記述する。予報対象地域で波浪警報等の運用を行っていない場合は、Kind 以下を省略する。 ※ 1－1－4 「波の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“潮位の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「潮位の警報級の可能性」の階級値（※ 1－2 参照）を記述する。予報対象地域で高潮警報等の運用を行っていない場合は、Kind 以下を省略する。 ※ 1－1－5 「潮位の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Area	対象地域	予報対象地域を記述する。
└ Name	対象地域の名称	予報対象地域（予報区）の名称を記述する。
└ Code	対象地域のコード	予報対象地域（予報区）のコードを記述する。

※ 1－1－1 「雨の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="雨の警報級の可能性">中</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="雨の警報級の可能性" condition="値なし" /> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="雨の警報級の可能性">高</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="雨の警報級の可能性">中</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> </pre>	<p>type には“雨の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※ 1－2）は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注</p>

※ 1－1－2 「雪の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="雪の警報級の可能性">なし</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="雪の警報級の可能性">なし</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="雪の警報級の可能性">なし</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="雪の警報級の可能性">なし</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> </pre>	<p>type には“雪の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※ 1－2）は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注</p>

※ 1－1－3 「風（風雪）の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="風（風雪）の警報級の可能性" condition="値なし" /> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="風（風雪）の警報級の可能性">中 </pre>	<p>type には“風（風雪）の警報級の可能性”と記載</p>

<pre> </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="風（風雪）の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="風（風雪）の警報級の可能性">中 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> </pre>	<p>する。</p> <p>警報級の可能性（※ 1－2）は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注</p>
---	--

※ 1－1－4 「波の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="波の警報級の可能性" condition="値なし" /> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="波の警報級の可能性">中</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="波の警報級の可能性">高</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="波の警報級の可能性">中</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> </pre>	<p>type には“波の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※ 1－2）は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注</p>

※ 1－1－5 「潮位の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="潮位の警報級の可能性" condition="値なし" /> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="潮位の警報級の可能性">中</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="潮位の警報級の可能性">中</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="潮位の警報級の可能性">中</jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> </pre>	<p>type には“潮位の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※ 1－2）は「高、中、なし」などの文字列で記</p>

	載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注
<jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="潮位の警報級の可能性" condition="提供なし"/>	なお、潮位の警報級の可能性は当面提供しないため、conditionに“提供なし”と記載する。

※１－２ 「警報級の可能性」の階級値

階級値*注	解説
高	警報級の現象が発生する可能性が高いことを示す。
中	警報級の現象が発生する可能性があることを示す。
なし	季節的に現象が発生しないことを示す。

*注：警報級の可能性の「高」「中」等の表現については、暫定的なもので、今後変更する可能性もある。

(参考)

- ・ 警報級の可能性の名称は「早期注意情報（警報級の可能性）」に変更した。